

環境分野のキャリアプラン

分 野	環境分野
職務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種環境施策の企画及び運営に関する事務（普及啓発事業の企画及び運営、補助金の交付、審議会の運営等） ・ 局の主管課事務（総務・人事、予算・経理、企画・広報等） ・ 各所属の総務及び各種調整事務
主な配属先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境局本庁各課 ・ 環境調査センター（総務課） ・ 東三河総局及び各県民事務所（環境保全課、廃棄物対策課） ・ 関係団体（（公財）愛知臨海環境整備センター）への派遣
め ざ す 職 員 像	高い調整能力と課題解決能力を備え、分野全体を多角的な視点で見渡すことができ、円滑に県政を運営する能力がある職員
育成の考え方	
<p><主事級（ジョブローテーション期間）> 【職員としての基礎固め】 ジョブローテーション期間中に、本庁を含め様々な業務を経験し、県の仕事の全体像を把握するとともに、個の能力を高めていく。</p> <p><主事級（ジョブローテーション期間終了後）～主任級> 【キャリアの軸探し】 今後のキャリアの軸を探すために、特定の分野の業務に継続的に取り組み、自らの適性を考えつつ、専門能力を高めていく。</p> <p><主査級・課長補佐級> 【実務の要＋グループ運営の補佐】 実務の要として主体的に企画・立案を行い、事業を推進するとともに、将来の管理的立場を意識して、更なる能力の向上を図り、自らの専門性を見極めを行う。 また、グループの中核として、円滑な業務推進や困難な課題の解決に取り組むとともに、これまでのキャリアを踏まえて、将来必要とされる能力を伸ばす。</p> <p><課長補佐級（班長）> 【グループマネジメント力の発揮】 これまでに習得した知識・経験・能力等を活かすことができる環境分野のグループ班長として、組織力を発揮して業務を推進する。</p>	

《環境分野のキャリアイメージ》

区 分	環境分野		キャリアプラン例①	キャリアプラン例②	キャリアプラン例③	
	異動・配属の考え方	必要とされる知識・能力				
新規採用	ジョブローテーション	【職員としての基礎固め】 □共通□ ・複数の所属の業務に従事し、今後、職員としてキャリアを積んでいくための基礎力を身につける。 ・早期に本庁を経験し、県の仕事の全体像を把握する。 <div>＜ジョブローテーション期間中における、配属又は異動の考え方＞ 県の仕事の全体像を把握し、幅広い視野や知識・能力を習得するとともに適性を見出すため、採用後2回の異動で下記の①から③までの内容を経験できるよう計画的に異動を行う。 ① 複数の局を経験する。 ② 可能な限り、本庁を経験する。 ③ 3ヶ所の所属を経験する。 ※異なる職務分野を経験することを原則とする。</div> ■分野特有■ ・事業部門と管理部門の双方を経験し、仕事の幅を広げる。 ・県以外での業務を経験し、幅広い視野や多面的な考え方を身につける(他県・民間企業等への派遣)。	①仕事の正確さ ②積極性 ③規律 ④チームワーク <div>【期待される事務レベル】 ・所属の支出、物品管理 ・簡易な普及啓発事業の企画及び運営 ・補助金交付事務の執行 ・担当事務に係る予算要求 ・議会参考資料、想定質問の作成</div>	採用所属（地方機関） 環境局地球温暖化対策課 自動車環境G ・分野内本庁 環境局水大気環境課 調整・計画G ・分野内本庁 ・主務課筆頭G 環境局資源循環推進課 循環G ・分野内主要業務 ・対外的な調整 環境局環境政策課 予算・経理G ・分野内主管課 ・局内調整 環境局地球温暖化対策課 調整・企画G ・分野内主要業務 ・主務課筆頭G 経済産業局産業部 産業科学技術課 新エネルギー企画G ・分野外事業課 ・キャリアの幅を広げる 環境局環境政策課 企画・広報G ・分野内主管課 ・対外的な調整 環境局地球温暖化対策課 調整・企画G（班長） ・これまでの経験を活かす（調整・企画）	採用所属（本庁） 環境調査センター総務課 総務G ・分野内地方機関 環境局環境活動推進課 環境学習G ・分野内本庁 民間企業派遣 ・民間企業派遣研修 ・幅広い視野の習得 県民文化局 男女共同参画推進課 男女共同参画G ・分野外事業課 ・キャリアの幅を広げる 県民文化局人権推進課 人権推進G ・分野外事業課 ・キャリアの幅を広げる 環境局自然環境課 生物多様性保全G ・分野内主要業務 環境局環境政策課 法規・補償G ・分野内本庁 環境局環境活動推進課 調整・環境配慮行動G ・分野内本庁 ・主務課筆頭G 環境局環境活動推進課 環境学習G（班長） ・これまでの経験を活かす（環境学習）	採用所属（地方機関） 環境局水大気環境課 大気調査G ・分野内本庁 環境局環境活動推進課 調整・環境配慮行動G ・分野内本庁 ・主務課筆頭G 環境調査センター総務課 総務G ・分野内地方機関 海部県民事務所 環境保全課環境保全G ・分野内地方機関 ・規制業務 環境局自然環境課 調整・施設・自然公園G ・分野内本庁 ・主務課筆頭G 環境調査センター総務課 総務G ・分野内地方機関 ・2回目の所属経験 尾張県民事務所環境保 全課環境保全第一G ・分野内地方機関 ・規制業務 関係団体派遣 ・関係団体への派遣 環境調査センター総務課 総務G（班長） ・これまでの経験を活かす（総務）
主事・主任級 （採用8年目から 主査級昇任まで）		【キャリアの軸探し】 □共通□ ・ジョブローテーション期間中に身につけた基礎力を高め、新たに行う業務に応用する。 ・キャリアの軸が定まっていない場合は多様な業務を経験し、自分の適性を見出す。 ・キャリアの軸が定まった場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 ・班長、主査等からの指示に基づいて幹部相談資料等の作成を行い、資料作成力や相談力を高める。 ■分野特有■ ・庁内又は対外的な調整を行う所属を経験し、事業の企画・運営に当たっての調整方法を身につける。 ・県以外での業務を経験し、幅広い視野や多面的な考え方を身につける(他県・民間企業等への派遣)。	①判断力 ②創意工夫 ③責任感 ④後輩育成 <div>【期待される事務レベル】 ・普及啓発事業の企画及び運営 ・各種連絡調整会議の運営 ・主管課の予算、人事等の担当 ・所属の総務、予算等の総括担当</div>	①判断力 ②創意工夫 ③責任感 ④後輩育成	環境局環境政策課 予算・経理G ・分野内主管課 ・局内調整	環境局環境政策課 法規・補償G ・分野内本庁
主査級 ・ 課長補佐級	【実務の要＋グループ運営の補佐】 □共通□ ・実務の要として、グループの主要業務を担う。 ・主体的に知事相談資料や議会答弁の作成を行い、説明力を高める。 ・キャリアの軸が定まっている場合は、新たな業務を経験し、キャリアの幅を広げる。 ・キャリアの軸が定まっていない場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 ・1度経験した所属(業務)を再度経験し、当該業務の遂行能力を高める。 ・班長を補佐し、全体の調整役として、円滑なグループ運営に貢献する。 ・将来の管理的立場を見据え、高度な調整業務を経験する。 ■分野特有■ ・予算・人事・議会等の内部管理における中心となり、高度な調整能力、交渉力を養う。 ・局の主要施策の企画及び運営を行い、対外調整力や企画立案力を高める。	<div>【期待される事務レベル】 ・主要施策の企画及び運営 ・審議会等の外部有識者会議の運営 ・知事相談・報告資料の作成 ・議会答弁作成 ・団体の所属（課）のマネジメント</div>	環境局地球温暖化対策課 調整・企画G ・分野内主要業務 ・主務課筆頭G			
課長補佐級 （グループ班長）	知識・能力を習得・発揮	【グループマネジメント力の発揮】 ・これまでに習得した知識・経験・能力を活かせる総務企画分野の各グループ班長として、組織力を発揮して業務を推進する。	①調整・折衝力 ②情報収集・活用 ③リーダーシップ ④人材育成・指導力	環境局地球温暖化対策課 調整・企画G（班長） ・これまでの経験を活かす（調整・企画）	環境局環境活動推進課 環境学習G（班長） ・これまでの経験を活かす（環境学習）	環境調査センター総務課 総務G（班長） ・これまでの経験を活かす（総務）

ジョブローテーション

知識・能力を習得・発揮

＜主な環境施策分野＞

[地球温暖化対策]

- ・産業・業務・家庭・運輸部門への地球温暖化対策
- ・気候変動への適応策

[自然との共生]

- ・自然環境の保全、自然公園、野生動植物の保護、生物多様性保全
- ・生物多様性保全に係る国際連携

[資源循環]

- ・資源循環の推進、一般廃棄物・産業廃棄物対策

[安全・安心の確保]

- ・大気環境の保全、自動車環境対策
- ・水、土壌、地盤環境の保全
- ・環境影響評価制度の推進、環境リスク対策、環境マネジメントシステムの普及
- ・環境保全に係る分析・検査、調査・研究

[行動する人づくり]

- ・環境学習の推進、環境面での次世代の担い手育成